

6. 家計の状況と経済意識

6-1. 世帯年収と月間小遣い(Q35. FS7)

【男性】

平均世帯年収は【継続無子家族】(749万円)が最も多く、【若年無子家族】(605万円)、【若年一人っ子家族】(565万円)の順になっている。

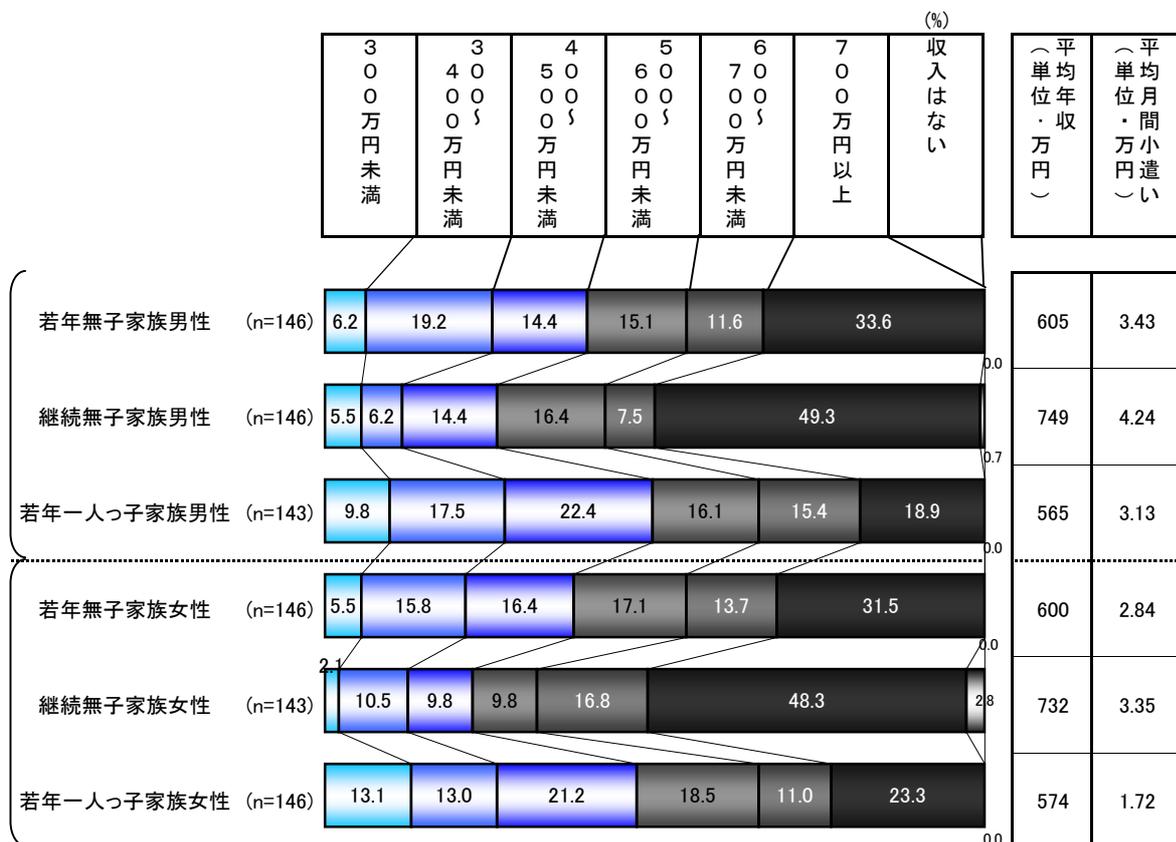
年収の分布をみると、「700万円以上」の比率が、【継続無子家族】では約半数(49.3%)を占めているが、【若年無子家族】では33.6%、【若年一人っ子家族】では18.9%にとどまっている。平均月間小遣いは、【継続無子家族】で4万円強、若年グループでは3万円強となっている。

【女性】

女性の場合も同様の傾向がみられ、平均世帯年収は【継続無子家族】(732万円)が最も多く、以下、【若年無子家族】(600万円)、【若年一人っ子家族】(574万円)の順。

平均月間小遣いは、【継続無子家族】で3万円強、【若年無子家族】は3万円弱、【若年一人っ子家族】は2万円弱となっており、同じ若年グループでも子ども有無で小遣いの金額に1万円程度の差がみられる。

図表6-1. 世帯年収および月間平均小遣い(各単数回答)
(基数: 勤労者・無回答を除く)



(注) 平均は非勤労者、無記入を除いて算出

6-2. 世帯年収の増減と家計のゆとり(Q37. Q38)

6-2-1. 昨年と比較しての年収増減(Q37)

【男性】

【継続無子家族】では「減った」(43.3%)が「増えた」(30.7%)を上回っている。

これに対し若年グループでは、「増えた」「変わらない」「減った」という割合は、ほぼ3等分されている。

【女性】

女性の場合も男性と同様の傾向になっているが、総じて男性より「減った」の割合が高い。

6-2-2. 家計のゆとり(Q38)

【男性】

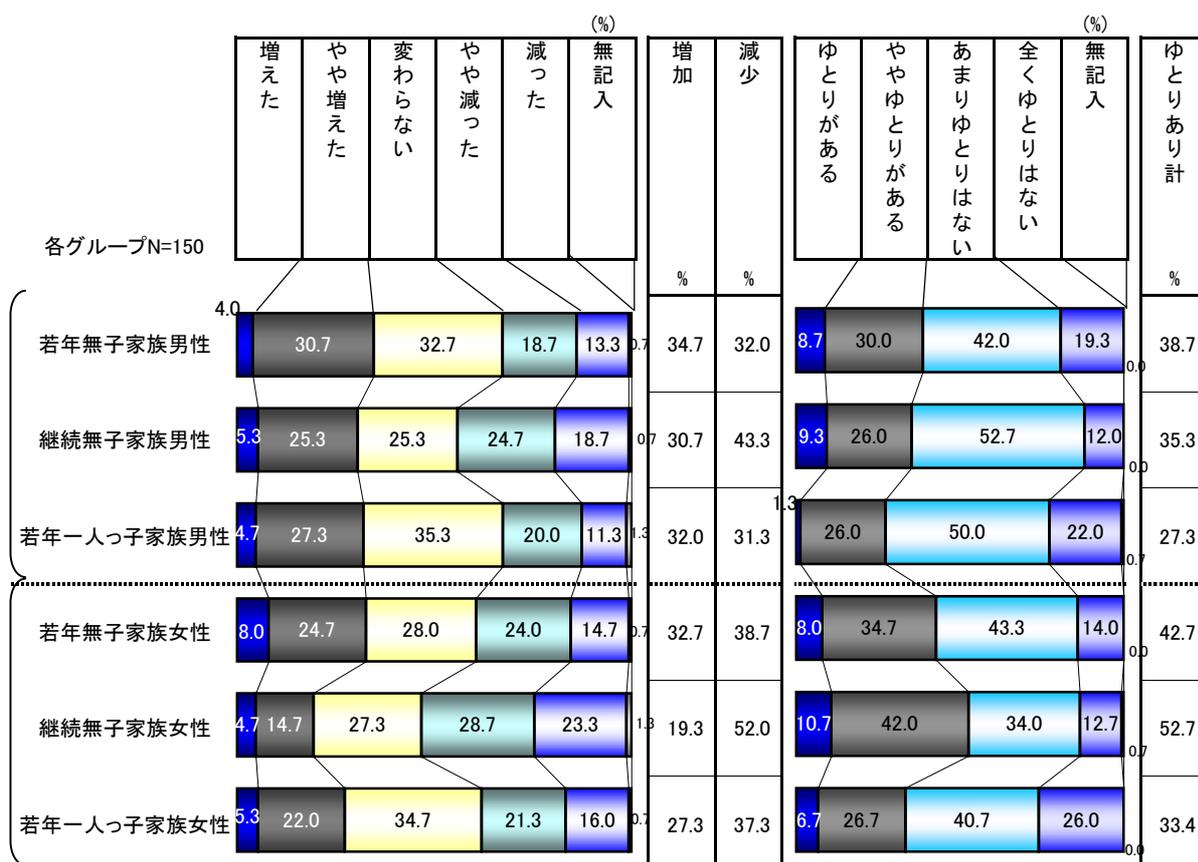
どのグループにおいても「あまりゆとりがない／全くゆとりがない」と答える人が6～7割を占めるが特に【若年一人っ子家族】は無子家族に比べてゆとりのない人が多い。

【女性】

女性の場合も男性と同様の傾向であるが、総じて、男性より女性の方が「ゆとりがある」といった認識が強い。

図表6-2-1. 昨年と比較しての年収増減
(単数回答)(基数:全体)

図表6-2-2. 家計のゆとり
(単数回答)(基数:全体)



6-3. 家計費目に関する認識(Q39)

5つの家計費目に関し、「かかりすぎている費目」と「今後、増やしたい費目」を質問した。

【男性】

かかりすぎている費目をみると、【若年無子家族】と【若年一人っ子家族】では「生活用品の購入費」が3割前後で最も多い。一方、今後増やしたい項目としては「子どものための経費」と「家族のレジャー費」を挙げている。特に【若年一人っ子家族】では「子どものための経費」「家族のレジャー費」の増加意向が5割近くに達している。

一方、【継続無子家族】ではかかりすぎている費目として「自分のための経費」(26.0%)を挙げる人が多い。今後増やしたい項目としては「家族のレジャー費」を挙げる人が多い。

【女性】

【若年無子家族】の傾向は、男性とほぼ同様である。

【継続無子家族】の場合は、かかりすぎる項目として「生活用品」(23.3%)と並んで「自分のための経費」(20.7%)を挙げる人が多く、今後増やしたい項目としては「家族のレジャー費」(28.7%)が挙げられている。

【若年一人っ子家族】ではかかりすぎる項目として「生活用品」(34.0%)に次いで「子どものための経費」(22.7%)を挙げる人が多い。今後増やしたい項目としては、「子どものための経費」が最も多く、49.3%に達している。

図表6-3. 家計費目に関する認識(複数回答)(基数:全体)

